

## 第4期リスク教育タスクグループ活動報告

秋田県立大学 金澤伸浩

### 1. 目的と概要

確率論的概念としてのリスクの考え方とリスク認知のバイアスの理解を基礎としたリスク教育の手法開発と普及を目的として活動を行っている。アクティブラーニング型を特長とするリスク教育プログラムを一般市民向けだけでなく学校教育へ適用することを目指し、現行のリスクに関する教育の情報収集、リスク教育の実践と改善、教育効果の評価方法の検討、情報発信や普及体制の確立などを行った。

### 2. 活動状況

#### ①定例 WEB ミーティング

1～2ヶ月に一度の頻度でグループメンバー（2025年9月時点：11名）とWEBミーティングを行った。ミーティングでは、教育アクティビティの実践方法の相談や内容の改善、リスク教育に関する話題の共有、教育方針の検討、教育効果の評価に関する研究データの検討などを行った。

#### ②教育効果確認のための測定尺度開発検討

リスク教育の効果をアンケート調査によって評価するための測定尺度について、WEBアンケート調査結果や教育実践時に収集したデータに基づいて改良を進めた。

#### ③学校教育への展開

これまでに制作したアクティビティや新たなアクティビティを、大学の講義のほか、高大連携授業や公立高校の家庭科などで高校生にも実践し、その成果を検討した。また、第25期日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会の委員により企画された家政学の本の執筆に参加し、リスクの考え方やリスクマネジメントなどについて記した。

熊谷優子, 金澤伸浩 (2024) 第4章：生活のリスクとリスクマネジメント, 持続可能な生活研究会編, 持続可能な社会と人の暮らし, pp.41-52 建帛社.

#### ④ホームページの運用開始

リスク教育に関する情報発信と情報収集の場とすることを目的として、ホームページの運用を2024年12月から開始した。<https://risk-education.jp/>

#### ③学会における活動報告

日本リスク学会年次大会において、企画セッションとポスター発表を行った。

- ・2022年第35回年次大会 ポスター発表

金澤伸浩，熊谷優子，内藤博敬，小山浩一，中山由美子  
高等学校家庭科教育における「リスク」の扱いとリスク教育の適用可能性

・2023 年第 36 回年次大会 ポスター発表

金澤伸浩，田中恵子，内藤博敬，熊谷優子，小山浩一，中山由美子  
対面型リスク教育アクティビティの実践事例

・2024 年第 37 回年次大会 企画セッション，初等中等教育課程に導入するリスク教育とは

金澤伸浩 初等中等教育課程で学ぶリスク教育の方向性  
内藤博敬 初等中等教育向け実践プログラム例  
四塚朋子 リスク教育介入とその成果の評価および活用をめぐって

3. 今後の予定

第3期の活動時に発刊したリスク教育アクティビティ集(2021)に収録していないアクティビティを加えた改訂版を制作し、一部をホームページに掲載するなどして、リスク教育の普及を図りたい。また、アクティブラーニング型の教育実践方法についての講習会も再開したい。教育効果の評価を行うための測定尺度もまとめ直して提示することを目指す。